

## 第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会・監督者会議

大会規模・参加クラブ数887 参加人数・男子1,907名・女子1,731名 計3,638名

### 1. 競技について

- (1) 本競技会は、2011年度(財)日本水泳連盟競泳競技規則により実施する。
- (2) 競技進行はタイムスケジュール通りに行う。
- (3) 予選競技は各種目とも、タイムレースで行う。出場者が8名以下の場合、予選は行わない。
- (4) 決勝は全種目行い、CS個人種目のみ予選申込者25名以上の種目に限って、B決勝を行う。
- (5) 決勝・CSのB決勝進出は予選の結果、上位8名が決勝に、9位から16位の選手がB決勝に出場できる。棄権者が出たときは、次点上位者より順次出場権を与える。
- (6) 決勝・CSのB決勝進出は、同記録で予定人数を超えた場合、抽選を行う。  
補欠の優先順位抽選も同様におこなう。
- (7) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のため必ずADカードを持参すること。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し当日の午前9時10分までにインフォメーションデスクに届け出ること。時間内に届出をしなかった場合は棄権料3,000円、無断で棄権した場合は罰金3,000円を徴収する。前日に提出可能な届出は受け付ける。
- (9) 決勝・B決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合は当該予選競技終了後30分以内に棄権料3,000円を添えて提出すること。  
無断で棄権した場合には、棄権料とは別に罰金3,000円を徴収する。
- (10) 競技は、女子はA面、男子はB面で行う。下記の競技はA面とB面を入れ替えて行う。  
招集は変更された招集所で行う。
  - ・ 1日目 28.男子CS50m自由形予選(A面)
  - ・ 2日目 96.男子CS1500m自由形予選3組・5組(A面)
  - ・ 3日目 162.男子CS400mリレー予選2組・4組(A面)
  - ・ 4日目 222.男子CS400mメドレーリレー予選4組・6組予選(A面)
- (11) 予選リレーオーダー提出は、競技当日の午前10時までにインフォメーションデスクに提出すること。  
決勝リレーオーダー提出は、予選競技終了後45分以内にインフォメーションデスクに提出すること。
- (12) リレーの引継ぎ判定はPT7000により判定する。
- (13) CSリレー種目メンバーの変更はCS個人種目の標準タイムを突破している選手に限られる。  
また年令別のリレー種目に出場する選手は、同種目のCSリレー種目メンバーにはなれない。  
プログラムに全選手の個人番号が掲載されているのでリレーオーダー記入の際、使用すること。
- (14) 予選競技においてスタートはオーバーザトップ方式で行う。  
次組のスタートが完了するまで水中で待機し、スタート終了後すみやかに自コースより退水する。  
ただしリレー・メドレーリレー・背泳ぎおよび、各種目の最終組については、すみやかに自コースより退水すること。
- (15) バックプレート付のスタート台を使用する。調整は各自行う。固定されていることを確かめること。
- (16) 800m・1500m自由形ではA面は水中ラップカウンター、B面は周回板を使用する。  
周回版は、折返し側の台中央に提示し、コールは行わない。
- (17) 公式計時セイコーによるバックアップはA面水中バックアップ、B面は半自動装置を使用する。
- (18) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること
- (19) 予選は組の紹介のみとし選手紹介は行わない。決勝・CSのB決勝は選手紹介を行う。
- (20) 本大会は上訴審判団を設置する。

### 2. 表彰・得点・記録証について

#### (1) 個人表彰

1位～3位にメダルならびに賞状を、4位から8位に賞状を授与する。

表彰は、12才以下は8位まで、13才以上は3位まで行う。

13歳以上の4位から8位までの賞状は1階ロビー、記録証発行所で賞状を配布する。

決勝種目終了後、女子・男子の順で表彰を行うので入賞者は所定の位置で待機すること。

優勝した選手は優秀選手の対象となるので最終日まで残ること。

最終日まで残れない選手は必ずインフォメーションデスクに申し出ること。(選考対象から除外となる)

## (2) 団体表彰

団体総合表彰は8位までを表彰する。

クラブ対抗の得点は個人種目の年齢区分別・チャンピオンシップともに

1位10点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。

チャンピオンシップにおける14歳以下の入賞者に対して12歳以下10点、13~14歳7点を加算する。

リレー種目はすべて、1位20点、2位16点、3位15点、4位14点、5位13点、6位12点、

7位11点、8位10点とする。

(3) 記録証を競技終了後即時発行する。選手は1階ロビー記録証発行所で受け取ること。

## 3. 全体スケジュール

期 日	開門時間	予選開始	決勝開始	終了予定	閉門時間
1日目 3月27日(火)	7:15	9:30	15:30	17:50	18:45
2日目 3月28日(水)	7:15	9:30	15:45	17:50	18:45
3日目 3月29日(木)	7:15	9:30	15:00	17:50	18:45
4日目 3月30日(金)	7:15	9:30	13:45	16:00	17:00

\*開会式1日目9時20分~

\*開始式1日目15時15分~

\*閉会式4日目15時45分~

## 4. プール使用について

### (1) メインプール

水温は28.0度、水深は1.6mに設定する。

練習は競技開始15分前までとする。(A面は9:00まで・B面は9:15)

A面は1・2コース、B面は7・8コースをダッシュコースとする。時間でコースを増設する。

昼休みの練習は決勝・B決勝出場者のみ練習できる。

ダッシュコースの代理人による順番待ちは禁止する。

公式スタート練習は午前8:15~9:15の間に行う。

練習はコース途中で止まらず泳ぎ続けること。パドルおよびコード類の使用を禁止する。

練習を行う時の入水はコース左側より足から入水すること。右側からの入水は厳禁する。

### (2) サブプール

水深1.2m~1.4mの固定床。

水温28.5度に設定する。

サブプール1~3コースを女子専用、5~7コースを男子専用とし、日時を限定し2・6コースをペースコースとして400m以上の専用アップコースとする。決勝時は6・7コースを決勝のダウン専用とする。

飛込みは禁止する。4コース(スタート台設置)はコーチの管理下においてスタート練習ができる。

ホイッスルの使用は禁止する。

パドルの使用および混雑時のコード類の使用は禁止する。

練習を行う時の入水はコース左側より足から入水すること。右側からの入水は厳禁とする。

## 5. 水泳場の使用について

(1) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての規定」を厳守すること。

(2) ダイビングプールに設置した特設席をコーチのラップ席として開放する(場所取りは出来ない)。

(3) 選手・付添コーチエリアには、一般は入ることは出来ない。

(4) 選手・監督・コーチは電光掲示板横とダイビング側階段を使用できる。

(5) ADカードは、館内にいるときは常時首からさげていること。また入場の際は必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。会場でのADカード発行(再発行を含む)は1,000円を徴収する。写真は各自で手配し添付すること。

(6) 更衣室のロッカーは使用できない。更衣のみに使用し控え場所にはしないこと。

## 6 . 注意事項、その他

- ( 1 ) 公式掲示板を 2 階エントランスと 1 階ロビーの 2 か所に設ける。
- ( 2 ) プログラムの訂正およびミスプリントは、当日午前 9 時まで所定の用紙に記入の上、インフォメーションデスクに届け出ること。( 前日提出可能な届け出は受け付ける )
- ( 3 ) 保護者及び関係者のビデオ、写真撮影の許可証 ( 有料 ) は参加クラブからの申込みが必要となる。許可証は常時首から掛け確認できるようにすること  
監督・コーチ・選手の A D カード及びクラブ関係者席の A D カードを着用している場合は撮影許可証を必要としない。
- ( 4 ) 使用する水着は、F I N A 承認の水着を着用すること。水着の重ね着、2 次加工は認めない。
- ( 5 ) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- ( 6 ) 盗難防止の為、貴重品の管理については各クラブの責任において行うこと。
- ( 7 ) 忘れ物は一般出入り口受付にて保管する。最終日競技終了後、廃棄処分とする。
- ( 8 ) 日本記録 ( 高校・中学・学童を含む ) の樹立が見込める外国籍の選手または日本国籍を得てから 3 年以内の選手は監督者会議終了後インフォメーションデスクまで申し出ること。
- ( 9 ) 競技結果を、S E I K O 競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)  
日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコード・モバイル (<http://j-swim.jp>) 」  
において確認できる。
- ( 10 ) 東京辰巳国際水泳場使用についての注意事項 ( 別紙 ) をよく読み良識ある行動をとること。

## 東京辰巳国際水泳場使用についての注意事項

### 館の使用について

1. 選手・コーチ・監督席(控え場所)は観覧席および観覧席裏(屋外)となります。
2. 参加選手・保護者ともに多数となる為、観覧席・屋外テントは譲り合って使用して下さい。
3. 観覧席(椅子席)および通路、更衣室、ロビーは敷物を禁止いたします。
4. 選手のために確保して、空いている席は選手が戻るまでは一般に開放して下さい。
5. クラブ旗の掲揚はヒモを使用しガムテープ等は使用しないで下さい。
6. 会場内は土足厳禁です。今大会ではプールサイドの上履き、プール用サンダルの使用を認めます。
7. ロイヤルボックス、エレベーター、開放禁止ドア等立入禁止区域への出入りは厳禁いたします。
8. 非常時以外に、非常ベル、防災器具には絶対触れないようにして下さい。
9. ゴミは持ち帰り下さい。特に弁当の空き箱、残飯は業者に持ち帰るよう支持して下さい。  
\* 特別注意事項 \* 帰りの途中で公園等のゴミ箱にごみを捨てないようお願いいたします。
10. 駅から会場に向かう途中、横に広がり道をふさいだり、騒いだりしないで下さい。
11. 施設・設備等の汚損、破損については修理実費の弁済を求める事があります。
12. 館内の施設・設備は大切に使用し良識ある行動をお願いいたします。

### プールの使用について

1. 出場選手以外の練習は出来ません。
2. サブプールでは1部を除き飛び込みを禁止いたします。またスイムキャップを着用して下さい。
3. パドルの使用は危険防止の為禁止いたします。
4. コーチのホイッスル使用は禁止いたします。
5. プールサイドでの飲食は禁止いたします。(ガムを含む)
6. ドリンクコーナーはサブプール入り口のブルーシートが敷いてあるところです。  
水またはスポーツドリンクのみが飲用できます。
7. プールサイドへの持込は、原則としてタオル・ゴーグル・スイミングキャップといたします。
8. 必要時以外はコーチのプールサイドへの入場を禁止いたします。

### 更衣室の使用について

1. 更衣室内ロッカーは施錠できません。荷物は各自、クラブが責任を持って管理して下さい。
2. ロッカールームでは着替えのみの使用とし、荷物置場、控え場所としては使用出来ません。
3. 更衣室内での飲食は厳禁いたします。
4. 更衣室内は裸足で歩いて下さい。また十分水気をふき取ってから入って下さい。

### 駐車場について

1. 駐車場は辰巳水泳場有料駐車場、辰巳の森海浜公園有料駐車場、夢の島総合体育館有料駐車場が利用できますが、駐車台数に限りがありますので車でのご来場はご遠慮ください。
2. 路上駐車は絶対しないようにして下さい。
3. 係員の指示に従って下さい。